

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

日立建機

建設現場のゼロエミッション化に貢献

5tクラスのバッテリー駆動式ミニショベル「ZX55U-6EB」 環境先進市場の欧州で2022年6月より本格受注を開始！ バッテリー駆動式建設機械の製品ラインアップを拡充！

バッテリー駆動式 ミニショベル 「ZX55U-6EB」

日立建機(社長：平野 耕太郎氏)の連結子会社である日立建機ティエラ(社長：一村 和弘氏は、5tクラスのバッテリー駆動式ミニショベル「ZX55U-6EB」を開発し、欧州市場向けに2022年6月より受注を開始する。

日立建機グループは、電動化需要の高まりに応えるため、2020年より発売中の8tクラス「ZE85」に加え、今回、受注開始をする5tクラスのミニショベル「ZX55U-6EB」を欧州市場に投入することで、バッテリー駆動式の製品ラインアップを拡充し、建設現場のゼロエミッション化に貢献していく。

市場ニーズに応える 先進建設機械を開発

近年、地球温暖化対策や低炭素社会の実現に向け、世界各国・地域で環境規制が強化されている。建設機械業界でも、自動車業界同様に、稼働時に二酸化炭素などの排出ガスを出さない電動化建設機械に対する期待が高まっている。特に欧州市場を中心に過密な都市部の工事で使われる油圧ショベルでは、バッテリー駆動式の電動化建機へのニーズが高まりつつある。

日立建機は、電動化建設機械の開発・製造に、早い時期から取り組んできた。作業現場の環境改善を目的に2000年代にバッテリー駆動式ショベルを市場導入したのに加え、中小型の有線式の電動ショベルは、主に日本市場で累積

100台以上の納入実績がある。

また、利用者のランニングコスト低減を目的としたマイニング分野でも世界各地の鉱山現場に多くの有線電動式の超大型油圧ショベルの納入実績がある。

長時間稼働を実現 メンテナンスコスト ダウンタイム低減

今回、受注を開始するバッテリー駆動式ミニショベル「ZX55U-6EB」は、狭小地でも作業効率の良い後方超小旋回型ミニショベル(5tクラス)をベースとした点と、バッテリー電源と商用電源を併用できる点が大きな特長になっている。ミニショベルの特長を最大限に生かせるよう、バッテリー・システムの小型化と商用電源の併用による長時間稼働を実現した。

また、ディーゼルエンジン式に比べて、定期的に点検・交換が必要なエンジンオイル・エンジンオイルフィルタが不要なため、メンテナンスコストやダウンタイムの低減に貢献する。

さらに通信端末を標準装備し、バッテリーの充電状態や機械の位置情報を確認できるだけでなく、電動システムの異常を監視する。機械の安定稼働とライフサイクルコスト低減に寄与する。

「ZX55U-6EB」は、日本では販売していないが、日立建機のICTデモサイトにプロトタイプ機を設置。今後、国内ユーザーのニーズや市場調査に活用する計画。

日立建機グループは今後も、個客の課題である「安全性向上」「生産性向上」「ライフサイクルコスト低減」の解決と、環境負荷の低減を図る高付加価値の技術・製品開発に取り組んでいく。(※資料提供：日立建機)



■日立建機URL→ <https://www.hitachicm.com/global/jp/>